



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和4年度 小・中学校初任者研修 新採用養護教諭研修 地区別研修 A 特別支援学校研修

- 日 時：令和4年10月12日（水）9：50～16：15
- 会 場：福島県立相馬支援学校（南相馬市鹿島区寺内字鷺内79）
- 参加者：小学校教諭10名、中学校教諭9名、義務教育学校教諭1名、養護教諭1名 合計21名
- 内 容：講話「特別支援教育について」 授業参観・校舎見学 講話「本校の教育課程について」
 研究協議「小・中・義務教育学校の特別支援教育で大切なこと」

- 【研修のまとめ】**
- 講話では、特別支援教育の現状や課題、インクルーシブ教育の考え方、小・中・義務教育学校における特別支援教育等のお話を伺いました。講話を通して学んだ特別支援教育の校内体制づくり、合理的配慮などの視点を、学級担任や教科担任、養護教諭、それぞれの立場で児童生徒へのよりよい支援に生かしましょう。
 - 研究協議では、複数の目で子どもの実態を多面的・多角的に捉えることの有効性を確認し、自分一人では得られない気付きや見取りを適切な支援へとつなげることについて、理解を深めることができました。支援を必要としている子どもの目線で現状を見つめ直し、一人一人に応じた支援の在り方について考えていきましょう。
 - みなさんが普段何気なく実践している配慮について、その意図を明確にし、周りの先生方と共有することで、チームとしての取組ができるようになります。組織的な支援を通して、児童生徒自身の困り感の解消・解決を図りましょう。

研修の感想

- 子どもそれぞれに合わせて指導の仕方や関わり方を工夫されていると感じました。合理的配慮について理解を深めることができ、とてもよい経験になりました。
- 自分の学級に交流にきている児童生徒への指導や対応について考えることができました。十分な対応ができず悩むこともありますが、特別支援学級の先生方とも相談しながら進めていきたいです。
- 特別な支援を必要としている児童生徒に対して、なぜそのような支援や配慮をしているのか、学級の子どもたちからの理解を得られるように指導していくことの大切さも知ることができました。
- 研究協議についてご指導いただいた先生の「その困りごとは誰の困りごとなのか」という言葉にはっとさせられました。

